

平成30年度第2回福井県医療審議会 議事概要

日時：平成31年3月28日（木）

19：00～20：30

場所：福井県国際交流会館 2階 第1・2会議室

議事（1） 第7次福井県医療計画の進捗について

事務局から資料1に基づき説明

○主な質疑

（委員）

- ・医療的ケア児に係る小児在宅医療について、医療計画の中では小児医療や在宅医療に関係があるが、現在はそれらの専門部会において議論されていない。対応を検討してもらいたい。

（事務局）

- ・来年度から専門部会において議論し、進捗を医療審議会の資料に記載することとしたい。

（委員）

- ・医療計画の中に「かかりつけ医の普及」について記載されているが、普及に向けた県の取組みについて伺う。

（事務局）

- ・今年度、県内2か所において、かかりつけ医の普及に向けた県民向けセミナーを開催した。今後も同セミナーを行っていく。

（委員）

- ・県内の成人の喫煙率が悪化しているが、禁煙外来の受診等について県の取組みや考え方を伺う。

（事務局）

- ・たばこ対策について、県では特に受動喫煙対策を進めているところであるが、禁煙対策についても禁煙外来の受診への支援等を検討していきたい。

議事(2) 地域医療構想の推進について

事務局から資料2に基づき説明

○主な質疑

(委員)

- ・公立・公的の4大病院の役割分担等について、どのような協議を行っているか。

(事務局)

- ・今年度4大病院で役割分担等を議論するためにワーキンググループを作り、DPCデータの分析を行った。来年度もワーキンググループを継続していく。

(委員)

- ・地域医療構想の中で、人口減少に伴う医療機能の集約化についても議論していかなければならないと思うが、例えば周産期医療の診療科が集約化により地域に無くなってしまい、その地域で子育て世帯が安心して暮らせなくなるのでは問題である。

(事務局)

- ・集約化の議論については、特に医療の中でも高度な診療について行うべきであり、最低限必要な医療に関しては、当然地域に残さなくてはならないと考えている。

議事(3) 医師確保および外来医療に係る計画について

事務局から資料3に基づき説明

○主な質疑

(委員)

- ・外来医療に係る計画の対象となる無床診療所について、地域に多数あるかどうか二次医療圏単位で判断するのは範囲が広すぎるのではないか。二次医療圏内でも偏在があるので、そのあたりを考慮すべきではないか。

(事務局)

- ・二次医療圏内の偏在についても、来年度の議論の場で協議していきたい。

(委員)

- ・医師確保に係る計画について、国は医師少数区域では他の医師多数区域から医師を確保するような仕組みを考えているが、具体的な方法について考えられているのか。

(事務局)

- ・都市部の医師多数県から医師少数県に医師を誘導する等の方策が考えられているが、実効性の有無についてまだ議論が必要である。

議事(4) GW10連休の対応について

事務局から資料4に基づき説明

○主な質疑

(委員)

- ・大型連休中に診療日を設定する医療機関について休日加算をとれる場合があるが、トラブルにならないよう患者に十分に説明を行う必要がある。

(委員)

- ・県民が後日診療していたことを知るのでは問題があるため、診療日を設定する医療機関を予め公表することが必要である。